

入院診療計画書

CP001050 様 入院日: 年 月 日
 病名・症状: パス名: 圧迫骨折
 担当看護師: 担当薬剤師: 担当栄養士:
 総合的機能評価:

病棟: 号室

西暦 年 月 日
 担当医: 西暦 年 月 日
 患者様・ご家族様サイン

やわたメディカルセンター
 月 日
 印 看護師: 月 日

期 間	No	未定 入院時	未定 ～1週間	未定 ～3週間	未定 ～4週間	未定 4週～退院	未定 退院時	未定 退院後
経 過								
達成目標	P	●患者様および家族が入院の目的、治療・ケア方法、合併症について理解できる。 ●入棟早期(3日以内)にベッドから転倒・転落しない。	●全身状態が安定している。(感染症状がない。排便コントロールができていない) ●安静時の痛みのコントロールができる。 ●コルセットを装着できる。	●退院先で想定される何らかの歩行補助具とトイレ環境で排泄ができる。 ●装具使用せず座った状態や立った状態で入浴練習をすることができる。 ●骨粗鬆症に対しての治療が始まる	●受傷前の日常生活状態に近づくことができる。	●退院先での生活動作の確認ができる。 ●退院できる環境が整う。 ●退院後の骨粗鬆症の治療計画を共有できている。	●退院後の注意事項を確認し退院できる。 ●退院後の自主運動を習慣化している。	●1年後に受診する
退院基準	P						【退院の基準】 ●補助具歩行60mが可能、排泄動作が可能、入浴が介助のもと可能になれば退院となり、介護保険サービス等でのリハビリテーションへ移行。 ●退院時間は、9:30までにお願ひしております。	
活動・安静	P	●コルセットを装着します。 ●痛みに応じてトイレに行くことができます。	●コルセットを装着して離床を開始します。	●痛みに応じて歩行練習、日常生活動作の拡大を行います			●受傷後3ヶ月間はコルセットを装着します。	
栄養(食事)・排泄・清潔	P	●トイレに行くことができない場合は、尿の管が入ります。 ●入浴のお手伝いをします。 ●食べやすいお食事の形に変更します。  ●特別な栄養管理の必要性【有・無】	●痛みの程度に応じてシャワーや入浴できます。 ●骨粗しょう症に対する栄養指導があります。					
治療・処置・検査・説明・指導	P	●採血・検尿・レントゲンなどの検査があります。	●歯科で口腔ケアを実施します。 	●レントゲン検査があります。  ●骨粗鬆症についてのパンフレットをお渡しします。	●レントゲン検査があります。 	●自己注射の練習を行います。困難な場合は家族へ指導を行います。		●1年後の再診時に骨密度測定あります。
内服・注射	P	●他院からの服薬の確認をします。 ●骨粗しょう症治療薬の確認をします。 ●必要に応じて痛み止めを出します。	●内服管理の方法を評価します。	●骨粗しょう症治療薬を開始します。(内服薬または注射)	●服薬状況を確認します。			●通院先を確認し、他院であれば紹介状を作成します。 ●他院に通院する場合でも、退院した1年後に当院に再診していただき、骨粗鬆症治療を継続できているか確認します。
理学療法	P	●受傷前の自宅での生活状況の確認を行います。	●痛みに応じた立位・歩行訓練をします。痛みが強ければ床上でのリハビリを行います。 ●立位・歩行訓練時はコルセット装着します。 ●自主運動の指導をします。	●受傷前の状態に応じた歩行練習をします。 ●日常生活動作の確認をします。		●退院後のリハビリテーション先の確認をします。 ●退院後の運動、生活指導を行います。		